

2012.6.2

第130回日本内科学会信越地方会例会で専門研修用高度シミュレーターのデモンストレーションを行いました

平成24年6月2日（土）に、新潟コンベンションセンター朱鷺メッセにおいて、日本内科学会信越支部主催の第130回信越地方会が開催されました。私たち医師キャリア支援センターは、会場ホワイエの一画に内科系の専門研修用高度シミュレーターを展示し、デモンストレーションを行いました。

当日は、特にデモンストレーションの時間が用意されていた訳ではありませんが、学会に参加していた臨床研修医や指導医の先生方にシミュレーターのご紹介をし、実際に操作をしていただきました。引き続き様々な企画で専門研修用高度シミュレーターを紹介していきたいと思っております。



今後の活動予定

①平成24年度 第2回指導医キャリアアップ講習会（右図）

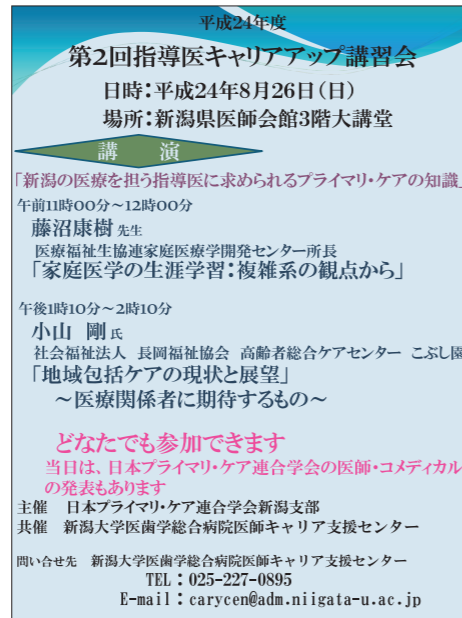
【期日】平成24年8月26日（日）午前11時00分より

【会場】新潟県医師会館 3階 大講堂

【講演】

藤沼康樹 先生  
医療福祉生協連家庭医療学開発センター所長  
「家庭医の生涯学習：複雑系の観点から」

小山 剛 氏  
社会福祉法人 長岡福祉協会  
高齢者総合ケアセンターこぶし園  
「地域包括ケアの現状と展望」  
～医療関係者に期待するもの～



平成24年度  
第2回指導医キャリアアップ講習会  
日時：平成24年8月26日（日）  
場所：新潟県医師会館3階大講堂

講演  
「新潟の医療を担う指導医に求められるプライマリ・ケアの知識」  
午前11時00分～12時00分  
藤沼康樹 先生  
医療福祉生協連家庭医療学開発センター所長  
「家庭医の生涯学習：複雑系の観点から」

午後1時10分～2時10分  
小山 剛 氏  
社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンター こぶし園  
「地域包括ケアの現状と展望」  
～医療関係者に期待するもの～

どなたでも参加できます  
当日は、日本プライマリ・ケア連合学会の医師・コメディカル  
の発表もあります  
主催 日本プライマリ・ケア連合学会新潟支部  
共催 新潟大学医歯学総合病院医師キャリア支援センター  
問い合わせ 新潟大学医歯学総合病院医師キャリア支援センター  
TEL：025-227-0895  
E-mail：carycen@adm.niigata-u.ac.jp



ランチョンセミナーの同時配信や各種検討会の配信を実施中  
またオンデマンド配信の説明会も開催しています



医師キャリア支援センターホームページ上で2012年度版を公開中  
冊子をご希望の方は医師キャリア支援センターにご連絡ください



随時登録・更新受付中  
適宜更新、追加をお願いいたします

お問い合わせ

新潟大学医歯学総合病院医師キャリア支援センター  
〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通一番町754番地  
Tel：025-227-0895 Fax：025-227-0886  
E-mail：carycen@adm.niigata-u.ac.jp

新潟大学医歯学総合病院

医師キャリア支援センター ニュース

2012. vol.

2

2012.6.30

平成24年度第1回施設別・分野別コーディネータ連絡会議を開催しました

平成24年6月30日の午後12時30分より、チサンホテル&コンファレンスセンター新潟にて、平成24年度第1回施設別・分野別コーディネータ連絡会議を開催しました。

会議では、まず前回3月17日の連絡会議後の当センターの活動について報告し、続いて平成24年度の活動計画について説明しました。

- 本年度の当プログラムの活動としては、基本的に今までの活動をさらに充実させることに重点を置く。
- 連携テレビシステムについては、大学との間で専門研修医と指導医や、指導医同士のミーティング、症例相談（高次救命災害治療センターによる遠隔アシスト指導含む）、大学からのランチョンカンファレンスや研究会、検討会の配信（各医療機関へのオンデマンド配信含む）などを行っており、各医療機関同士でもテレビシステムを通じたカンファレンス、検討会などが開催されている。本年度もこのようなイベントを企画・バックアップし、さらなる活用を図っていく。
- 専門研修用高度シミュレーターは、本年度もメンテナンス、バージョンアップを図っていく予定。また、シミュレーターの展示説明会も引き続き継続していく。
- N専門研修案内については、すでに2012年度版が完成し、各コース、関連施設に配布済み。今回は病理コースが新設され、各コース、医療機関の情報、専門医情報も更新されている。ホームページ版も同様に本年度版へ更新済み。
- 専門研修医のプログラム登録を引き続き行っている。
- 指導医キャリアアップ講習会は、本年度も継続して開催を予定している。
- ニュースレターは年度内に4回の刊行を予定しており、第1号を6月初めに刊行しました。

その後、前回の会議の際にコーディネータの方からいただいた質問について回答いたしました。こちらの詳細については当センターのホームページや議事録をご確認ください。

次に、大学病院連携型高度医療人養成推進事業プログラムにおける秋田大学・琉球大学の短期研修について議題にあげ、最後に新潟大学新規所属者（いわゆる入局者）の状況について説明しました。今後も、当プログラムの運営に今回コーディネータの先生からいただいたご意見を大いに参考にさせていただきたいと思っております。



2012.6.30

平成24年度第1回指導医キャリアアップ講習会を開催しました

平成24年6月30日午後1時30分より、チサンホテル&コンファレンスセンター新潟において、平成24年度第1回指導医キャリアアップ講習会を開催しました。当日は34名の先生方に御参加いただきました。

第1部は「男女共同参画の視点から見た職場・研究環境への提言」と題し、NARの各大学の男女共同参画に関わっている先生方からご講演をいただきました。

初めに、新潟大学企画戦略本部男女共同参画推進室の林はるみ先生から、「本学における男女共同参画推進」と題してご講演をいただきました。次に、琉球大学医学部附属病院の宮城めぐみ先生から、「当院における女性医師を取り巻く環境」と題してご講演をいただきました。最後に、秋田大学医学部総合地域医療推進学講座の蓮沼直子先生より、「秋田大学における男女共同参画のとらえ方 ～すべての医師がやりがいを持ち安心して働き続けるために～」と題してご講演をいただきました。講演内容の要点につきましては当センターのホームページをご覧ください。

第2部の総合討論では、秋田大学の病児保育の取り組みはどのような体制で行っているのか、「おたがいさま」の雰囲気作りについてはもともと業務に大きな差があるため平等な感覚になるのは難しいのではないのかなど、多くの質問をいただきました。男女共同参画が医師不足について果たす役割について、大学レベルでは男女共同参画への様々な取り組みが始まり、女性医師が存分に働ける環境が徐々に整いつつあるが、各医療機関レベルではマンパワー不足もあり、男女共同参画への取り組みもまだまだの面もあります。それに対して新潟県女性医師ネット代表世話人で、新潟県村上市保健所長の佐々木綾子先生から、新潟県の現状からすれば、女性医師が存分に働けることが医師不足解消のためには必須であり、医療機関でもニーズに応じて男女共同参画のためのインフラがそろそろであるから大丈夫でしょう、と、この取り組みへ「太鼓判」をいただきました。

終始活発な討論が行われ、非常に有意義な講習会となりました。この会を契機に、男女共同参画の取り組みがさらに広がっていくことを大いに期待しています。



## 2012.6.22 先輩医師との茶話会が開催されました

平成24年6月22日（金）午後5時より、新潟大学医歯学総合病院第4検討会室において、「先輩医師と語ろう ～私のキャリアと生活～」というタイトルで医学部学生と医師との茶話会が開催されました。当日は9名の医学部学生と3名の女性医師にご参加いただきました。

はじめに男女共同参画推進室の林はるみ先生よりご挨拶があり、参加者の自己紹介のあと、話題提供として皮膚科の下村尚子先生からお話をうかがいました。その後は質疑応答などフリートークの時間を設け、みんなでスイーツを食べながら、将来の不安や迷い等に先輩（ロールモデル）からアドバイスをいただくなど、和やかな雰囲気の会となりました。

今回の企画を通じ、若手の医師や医学部生が先輩医師の仕事と生活の両立やキャリアに関するさまざまな体験談を聞き、多様な生き方・キャリアアップがあることを知り、自身の中・長期的なキャリアデザインをイメージするとともに、男女の医師がともに能力を発揮するための環境整備（職場の雰囲気づくり等々）について考える機会となることを願っています。私たち医師キャリア支援センターは、今後もこのような企画を通じて男女共同参画を推進して行く予定ですので、次の機会にもぜひお誘いあわせの上ご参加下さい。



## 2012.7.6 都会と地方の協調連携による高度医療人養成プログラムに伴う3大学合同FDに参加しました

平成24年7月6日（金）に、東京医科歯科大学にて開催された、「都会と地方の協調連携による高度医療人養成プログラムに伴う3大学合同FD」に参加しました。

「都会と地方の協調連携による高度医療人養成プログラム（TAS）」は、私達と同じく、大学病院連携型高度医療人養成推進事業のもとで、東京医科歯科大学、秋田大学、島根大学が共同で行っているプログラムです。今回のFDでは、「3大学連携について事業終了後の展開を考える」をテーマに講演、シンポジウム等のプログラムが組み立てられていました。

講演では、文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室長の平野浩之氏より、「大学病院における若手医師の研修体制等の課題と今後の展望」の演題でお話をいただきました。文部科学省では、8月下旬の概算要求に向けて、大学病院連携型高度医療人養成推進事業に続く新しいGPの立案、予算立てを行っていくという話がまずありました。その後、大学病院連携型高度医療人養成推進事業が立ち上がった背景の話があり、最後に今後の課題として、帰学率が高まっていない、女性率が上がっている、これらに対してどう取り組むか、また地域卒の学生をどういったプロセスで一人前の医師に育てるか、などが示されました。質疑応答では、大学病院連携型高度医療人養成推進事業の延長の要望や、新しいGPの立案時に、事業に参加する各大学にアイデアを募る要望があり、特にアイデアを募る要望には前向きに検討していただけたとのことでした。

シンポジウムでは、「3大学連携について事業終了後の展開を考える」をテーマに、各大学の派遣研修報告がありました。派遣研修報告では、研修した先生のみならず、派遣元の指導医、派遣先の指導医にも話を伺い、様々な角度から派遣研修を振り返っており新鮮でした。

このように興味深い話題に数多く接することができ、有意義な報告会でした。今後の当プログラムの展開にも、おおいに参考にさせていただこうと思います。



## 2012.6.17 レジナビフェア2012 for Resident in 東京に参加しました

平成24年6月17日（日）の午前12時より開催された、レジナビフェア2012 for Resident in 東京に参加しました。このフェアは、初期研修医の専門研修病院選択の機会となるものです。

当日は、500名ほどの初期研修医の参加があったとのこと。我々のブースにも新潟にゆかりがないという先生も何人かお越しになり、新潟大学の専門研修の概要の説明をさせていただきました。この機会に、是非新潟で研修していただければと期待しております。



## 2012.6.4 第2次オンデマンド配信システム説明会を開催しました

平成24年6月4日（月）午後5時から、連携テレビシステムを介してオンデマンド配信システムの説明会を開催しました。

この日の説明会では、両津市民病院から、石塚院長、内科の黒川先生、小児科の小嶋先生に御参加いただきました。実際にオンデマンド配信システムにアクセスしていただき、実際の配信画像をご覧頂きました。接続の用意さや鮮明な画像を御体感いただけました。

この説明会は継続して開催する予定です。これからもますますの利用者像に向け、様々な取り組みを行っていきたいと思います。